

「アジア発、日本規格の輸入建材メーカー視察・研修」  
《タイ・ベトナムの建材メーカー、図面作成会社、人材派遣会社等訪問》

2014年1月吉日  
品質向上委員会委員長  
森田 順

近年、欧米デザインされ東南アジアで製造された建材が世界中で使われています。又、安価な労働力を求めて、日本の建材メーカーも東南アジアでの OEM 生産を増やしています。そして、そこで得たノウハウを基盤として独自のテイストを加え、魅力のある製品を日本市場のみならず世界へ輸出をしている現地企業もあります。

品質向上委員会では、これまで北米の新築、中古住宅の検査制度(インスペクション)や、ヨーロッパの省エネ表示(エネルギーパス)を学ぶ海外研修を行ってきましたが、来期は初めての東南アジア研修として、現在一番活気のあるタイ・ベトナムの製造現場訪問を企画しました。更に住宅の図面作成においても実績がある企業を訪問し、日本からの CAD 図面の依頼の仕方や図面精度なども視察する予定です。

訪問先については、輸入建材事業者連絡会(IBMf)の協力を得て、日本のビルダーに対して、今後のサプライソースとして有力なコンタクトがとれそうな企業を調査し、視察・研修の対象としてリストアップしています。(将来的には、これらネットワークを利用して、アジアでの住宅建設事業の道も視野に入れていきたいところです。)

**視察・研修概要:**

時 期: 2014年5月12日(月)～17日(土)

旅 費: ￥250,000.-/人 程度

- ・現地移動を含む旅費交通費
- ・宿泊費(一部食費を含む)
- ・通訳等費用

訪問先: タイ・ベトナムの建材工場、ショールーム、住宅応用例、図面製作会社等

参加申込締め切りは **2月末日(金)**。

◎研修企画内容については、IHIO事務局 橋本 ([mich@ihio.or.jp](mailto:mich@ihio.or.jp)、tel : 03-3980-7311) までお問合せください。

主催：IHIO 輸入住宅産業協会・品質向上委員会 / 企画：C.K.&アソシエイツwith 輸入建材事業者連絡会

○ ASIA ベトナム・タイ建材メーカー視察ツアー旅程（予定）：

旅行代金 IHIO 会員様：¥250,000						
日次	月日/曜日	都市名（発/着）	時間	交通機関	摘 要	食事
1	平成26年 5月12日（月）	成田発 ハノイ着	07:30 10:00 14:30	VN311 専用車	成田空港集合 ベトナム航空311便にてハノイへ 空港からホテル+夕食会場へ往復送迎	昼：機内 ○ 夕：市内 ○ 泊：市内
2	5月13日（火）	ハノイ市内滞在	終日	専用車	市内/郊外の建材メーカー視察訪問	朝：ホテル○ 昼：市 内 ○ 夕：自 由
3	5月14日（水）	ハノイ市内 午後ハノイ発 バンコク着	午前 15:43 17:35	専用車 VN613 専用車	午前中 建材メーカー視察訪問 昼食後ベトナム航空613便にて タイ・バンコクへ 到着後市内のホテル+夕食会場へ往復	朝：ホテル○ 昼：空港 ○ 夕：市内 ○ 泊：市内 H
4	5月15日（木）	バンコク市内	終日	専用車	市内/郊外の建材メーカー視察訪問	朝：ホテル○ 昼：市内 ○ 夕：自 由
5	5月16日（金）	バンコク市内 夕食後バンコク発 ホーチミン着	午前 午後 19:35 21:05	専用車 VN602	王宮、エメラルド寺院、暁の寺等観光 フリー ベトナム航空602便にてハノイへ 空港にて統括会議	朝：ホテル○ 昼：自 由 夜食：空港○ 泊：機内
6	5月17日（土）	ホーチミン発 帰国	00:30 07:45	VN300	ベトナム航空300便にて成田へ 東京・成田空港着、到着ロビーにて解散	朝：機内 ○

※ 旅行代金に含まれるもの： 航空運賃-日程表に記載されたエコノミークラス団体運賃・燃料サーチャージ、宿泊料金-ホテル1人部屋料金、専用車-空港⇄ホテル間の送迎、市内・郊外日程明示の視察・観光  
 ※ 表記時間は全て現地時間帯です。交通機関、等、変更になる場合があります。  
 ※ ハノイ滞在中の宿泊はメリア・ハノイホテル、バンコクでの宿泊はロイヤルオーキッドシェラトンホテルと安全で清潔なホテルを一人部屋条件で予定しています。  
 ※ 利用予定航空会社： ベトナム航空を予定しています。  
 ※ 参加者が10名に満たない場合はキャンセルとなる可能性もあります。参加申し込み締め切りは**2月末日(金)**です。

[取扱旅行会社] 株式会社新生旅行（担当：大嶽 眞一氏） 105-0004 東京都港区新橋6-2-1 TEL：03-3438-2508

お申し込み用紙

メール添付又はFAXにてご返信ください。FAX番号：03-3438-2560、メール：info@shinsei-tours.co.jp

ご氏名：	性 男 別 女	現住所：
ローマ字氏名：	電話番号（ご自宅）/ 携帯電話	
生年月日： 年 月 日	ご勤務先住所：	
会社名（所属部署）：	電話番号	
有効なパスポートをお持ちの方	旅券(パスポート)番号： 発行年月日： 年 月 日	
ご希望のお支払い方法： 銀行送金 / クレジットカード / その他		
その他、ご希望・特注事項、等		

## 企業・工場・ショールーム視察

### ベトナム ・ ハノイ

#### ○ ビンハン <VINHAN Natual Hardwood Floor>

日本に入りづらい素材、東南アジア(ラオス等)の木材使用の無垢フローリングメーカー。

Tai Len Industrial Cluster, Haiphong City, Vietnam

#### ○ ジャビパシフィック, JSC <Javi Pacific., JSC>無垢フローリング材、及び集成板

無垢フローリング、及び集成板を製造する会社で、日本の会社とも委託加工契約を取り交わしている。

主として米国広葉樹を原材料とし、一部檜も使用している。

An Vu Commune, Quynh Phu District, Thai Binh, Vietnam

#### ○ ビテクスコ <BITEXCO> ドアメーカー

主としてエリオットパイン、アルダーを材料にするドアメーカー。上記工場そば。

#### ○ ブラウン・ソー設計事務所<Brown So Associates Architects Co., Ltd.>

CAD、設計図面作成に関する日本向け業務を準備中。日本路スタッフ常駐。

#### ○ TMS 人材株式会社

技術訓練・日本語講習終了後、日本へ人材派遣。日本側での受け入れ機関は NPO 法人ジンテック

KM19, 32 road, Duc Thuong commune, Hoai Duc district, Ha Noi City, Vietnam

### その他調整中訪問先

ベトナム商工省アジア太平洋局長 Mr. Vo Thanh Ha (ハー局長) を囲んでの夕食会

### タイ・バンコク

#### ○ ダイシン <Daisin Products Co., Ltd.> キャビネット <F☆☆☆☆>

バンコクから車で約 40 分、空港近くに位置する木製品メーカー。

オーナーは北海道出身の日本人。

ベッドのヘッドボードをトヨタベッド他数社に輸出しており、木製玩具の製造もおこなっている。

他に日本の商社から洗面化粧台のキャビネット製造、特殊ドア製造を委託生産している。

89 Moo 6 Bangna-Trad Km, 24 Bangsaotong Samutprakarn, Thailand

#### ○ ルアンウタイ <Ruang Utai Wood Industry Co., Ltd.> フローリング材 <JAS 工場>

バンコクから車で約 50 分、このメーカーのバンコクに一番近い工場を訪問。

ラバーウッドを主体に、ラオス材など東南アジア材を原材料としたドア、フロー材を生産。

ヨーロッパ、日本、などへ輸出。他に、パーティクルボードの生産、輸出も行っている。

39 Moo 7 Phatumthanee-Banglen Rd., Lardlumkaew Phatumtharee, Thailand

## 文化・ライフスタイル視察

### ○マンダリン・オリエンタル・バンコク (Mandarin Oriental Bangkok)

アジアを代表する最高級ホテルの一つとして国内外の賓客や多くのビジネス客、観光客が定宿として訪れている。

1887年の設立以来、約130年に及ぶ歴史を誇り、作家のサマセット・モームやジョゼフ・コンラッド、ノエル・カワード、ジェームス・ミッチナー(4人の名前はスイートルームの名前として残されている)、タイ・シルク王として名高いジム・トンブソンなど数々の著名人が定宿としていたことでも有名。

1942年からは、タイ王国の同盟国であった日本の帝国ホテルが経営を委託され運営を行ったが、1945年の第二次世界大戦の終結を受けて帝国ホテルは撤退、その後の一時期はジム・トンブソンがこのホテルの共同経営者となり客室のデザインも行った。

「1人の宿泊客に対して4人のスタッフがついている」と称されている程の、きめ細やかなサービスが評価を受けており、インスティテューショナル・インベスター誌やコンデナスト・トラベラー誌などの権威ある雑誌による調査で常に世界のトップクラスに選ばれている。

なお、全ての部屋にバトラー・サービスがついている他、チェックインの手続きは全て客室で行われる。また、日本人のホテルマンも複数名常駐している。

### ○オペラハウス(ハノイ) Opera House (Nha Hat Lon)

フランス人の建築家、Harlay と Broyer の設計。(面積2600㎡、87mx30m)

1901年6月7日着工、1911年完成された。

建設するために、毎日、ベトナムの300人の労働者が使用された。労働者は建物の土台を建設するために3万5千本の竹の柱を打ち込み、厚さが90cmのコンクリートを注いだ。12,000 m<sup>3</sup>の原材料と600トンの鉄が使用された。

完成されたオペラハウスの収容員数は870名。当時のハノイの人口は2万人以下であることを考えると、オペラハウスの規模は巨大であった。2階にはVIPルームがあり、後ろには12の化粧室、1つの図書館、リハーサルルーム、1つの会議室がある。

1945年の8月の革命が成功した際、ベトナム民主共和国の初めての国会が、このオペラハウスにて行われた。(1995年に修復している)

### ○水上人形劇(オブション) Water Puppet Theatre

10世紀から続く伝統芸能で、もともとはホン川の北部で収穫祭や儀式の時に行われたのが始まり。上演時間は約1時間で、演目は1編が3-5分で全17編。内容は農家の日常生活や、竜や獅子が登場する伝説を描いたもの、等。